

総会議事録

1 開催日時

平成24年5月30日（水） 13：30から16：00まで

2 開催場所

山形市役所11階大会議室

3 当日の会員数

個人282名、36団体、154事業者：総数472

4 出席者数

【委任状含】個人188名、27団体、86事業者：総数301（定足数236）

【実出席者】個人64名、21団体、11事業者団体、27事業者：総数123

うち、当日協力スタッフ25名（会場設営、受付ほか）

5 議事の経過及び結果

議長については、規約第11条第2項の規定により、総会出席会員の中から個人会員の荒井安雄さんを選出した。

第1号議案 平成23年度事業報告及び収支決算報告について

承認

第2号議案 平成24年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

承認

第3号議案 役員改選について

任期満了により役員選任を行った。

選考方法として、選考委員会開催及び3名の選考委員選任について事務局より提案し、提案どおり承認

選考委員長 押切昭弘

選考委員 佐藤さおり、川村将宏

選考委員会により、以下のとおり提案し、提案どおり承認

会長 金澤和子

副会長 長瀬洋子、熊谷信一

幹事 中村明千、鈴木隆男、齋藤淳、

村中秀郎、鹿野順子

監事 渡辺明、横沢正巳

併せて、金澤新会長の提案により、規約第10条に基づき菅野前会長のアドバイザー就任が承認された。

6 質疑応答は以下のとおり

第1号議案 平成23年度事業報告及び収支決算報告

（質疑①）決められた予算の中で努力して事業を執行されていて、感謝している。

事業の中の「エコキャップBOX」の件に関連してお伺いしたい。エコキャップを回収する体制は現在どうなっているのか？

(村中部会長) エコキャップBOXの裏面に回収BOXの設置場所が記載されているので、そちらにお持ち込みいただきたい。

(質疑②) 雑がみを行政や集団資源回収で回収しているのだから、エコキャップも同じ流れで回収できないか？

(村中部会長) この場でお答えできる内容ではないので、貴重なご意見として承る。

7 【第二部 情報交換会】

「震災復興から見た 自動車リサイクルについて」

～震災から1年、活きた！環境の取組み～

講師：NPO法人山形県自動車公益センター

専務理事 菅原 弘紀（すがわら ひろき）氏

- 初めに、TUYで放映された番組「えこいろ」の映像を流す。
- 映像にもあったように、これからは大量生産・大量消費の時代ではないので、それは自動車でも例外ではなく、販売から回収・解体・リサイクルまで責任を持つ必要がある。そのような観点から、2005年に、山形県内にあるメーカーディーラー18社が出資して役員を務める山形県自動車販売店リサイクルセンターを設立した。株式会社として出た利益は株主に配当せず、納税及び基金として寄付している。
- 2009年にはNPO法人として登録し、2011年エコショップをオープンして海外へ輸出したり個人に販売したりしている。日本では車では10年くらいで買い替えられるが、海外では動かなくなるまで“車”であり、部品も10年以上経っても需要があり、それに応えていく責任もある。
- 今回の震災ではすぐに宮城県内に入り現状を把握。トヨタ社から委託を受けた1,500台を含めた約2,000台の新車を4月上旬に撤去した。社員40名で、お盆過ぎまでかかって処理した。
- 現在エコショップで取り扱っている製品は、自動車の部品（バンパー・ドア・タイヤ・エアコン等さまざま）はもちろん、エアバッグやシートベルトを再利用したビジネスバッグ、エコバッグ、帽子など、また産学連携して生まれた椅子などがある。今後は自動車に使用されているレアメタル・レアアースの活用を考えていきたい。
- 地域と連携した取り組みとして、高校生との商品開発、エコドライブの啓発活動等を行っている。
- 今後も、“3R”プラスアルファとして、リスペクト、つまり、“物を大切にすること、物に感謝する心”を持ち、真剣に考え→実行し→伝えていくという事を大事にしていきたい。

質疑 なし

8 その他

第1号議案における、平成23年度収支決算報告の前段に、加藤事務局長より議案書の訂正願ひあり。

・ 8 ページ 支出の部 事務費の差引増減額 誤△13,220 → 正△13,224

・ 8 ページ 支出の部 通信費の決算額 誤 81,152 → 正 76,380

差引増減額 誤 8,848 → 正 13,620

よって、管理費の決算額 314,915 → 310,143

差引増減額 △24,915 → △20,143

総決算額は、1,544,724 → 1,539,952

差引増減額合計は、15,276 → 20,048 となり、

翌年度への繰越金額は、20,948 → 25,720 となる。

また、これに伴い、第2号議案における平成24年度収支予算（案）中

・ 13 ページ収入の部の繰越金 予算額 20,948 → 25,720

増減額 △8,598 → △3,826

・ 13 ページ収入の部のその他収入 予算額 40,052 → 35,280

増減額 9,598 → 4,826 となる。